

CLUSTERPRO[®] X *for Windows*

PPガイド (ActiveImage Protector 3.0)

2012.08.10

第1版

CLUSTERPRO

改版履歴

版数	改版日付	内容
1	2012/08/10	PPガイド(バックアップツール)より分冊し、新規作成

© Copyright NEC Corporation 2012. All rights reserved.

免責事項

本書の内容は、予告なしに変更されることがあります。

日本電気株式会社は、本書の技術的もしくは編集上の間違い、欠落について、一切責任をおいしません。

また、お客様が期待される効果を得るために、本書に従った導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

本書に記載されている内容の著作権は、日本電気株式会社に帰属します。本書の内容の一部または全部を日本電気株式会社の許諾なしに複製、改変、および翻訳することは禁止されています。

商標情報

CLUSTERPRO® X は日本電気株式会社の登録商標です。

Intel、Pentium、Xeonは、Intel Corporationの登録商標または商標です。

Microsoft、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

本書に記載されたその他の製品名および標語は、各社の商標または登録商標です。

Oracle Parallel Serverは米国オラクル社の商標です。

その他のシステム名、社名、製品名等はそれぞれの会社の商標及び登録商標です。

目次

はじめに	i
対象読者と目的	i
適用範囲	i
CLUSTERPRO マニュアル体系	ii
本書の表記規則	iii
最新情報の入手先	iv
第 1 章 ActiveImage Protector 3.0.....	1
インストール	1
バックアップ(スケジュールの作成)と通常の運用	1
イメージの復元	2
注意事項	2

はじめに

対象読者と目的

『CLUSTERPRO® PPガイド』は、クラスタシステムに関して、システムを構築する管理者、およびユーザサポートを行うシステムエンジニア、保守員を対象にしています。

本書では、CLUSTERPRO環境下での動作確認が取れたソフトウェアをご紹介します。ここで紹介するソフトウェアや設定例は、あくまで参考情報としてご提供するものであり、各ソフトウェアの動作保証をするものではありません。

適用範囲

本書は、以下の製品を対象としています。

CLUSTERPRO X 3.1 for Windows

CLUSTERPRO X 3.0 for Windows

CLUSTERPRO X 2.1 for Windows

CLUSTERPRO マニュアル体系

CLUSTERPRO のマニュアルは、以下の 4 つに分類されます。各ガイドのタイトルと役割を以下に示します。

『CLUSTERPRO X スタートアップガイド』(Getting Started Guide)

CLUSTERPRO を使用するユーザを対象読者とし、製品概要、動作環境、アップデート情報、既知の問題などについて記載します。

『CLUSTERPRO X インストール & 設定ガイド』(Install and Configuration Guide)

CLUSTERPRO を使用したクラスタ システムの導入を行うシステム エンジニアと、クラスタシステム導入後の保守・運用を行うシステム管理者を対象読者とし、CLUSTERPRO を使用したクラスタ システム導入から運用開始前までに必須の事項について説明します。実際にクラスタ システムを導入する際の順番に則して、CLUSTERPRO を使用したクラスタ システムの設計方法、CLUSTERPRO のインストールと設定手順、設定後の確認、運用開始前の評価方法について説明します。

『CLUSTERPRO X リファレンス ガイド』(Reference Guide)

管理者、およびCLUSTERPRO を使用したクラスタ システムの導入を行うシステム エンジニアを対象とし、CLUSTERPRO の運用手順、各モジュールの機能説明、メンテナンス関連情報およびトラブルシューティング情報等を記載します。『インストール & 設定ガイド』を補完する役割を持ちます。

『CLUSTERPRO X 統合WebManager 管理者ガイド』(Integrated WebManager Administrator's Guide)

CLUSTERPRO を使用したクラスタシステムを CLUSTERPRO 統合WebManager で管理するシステム管理者、および統合WebManager の導入を行うシステムエンジニアを対象読者とし、統合WebManager を使用したクラスタシステム導入時に必須の事項について、実際の手順に則して詳細を説明します。

本書の表記規則

本書では、「注」および「重要」を以下のように表記します。

注: は、重要ではあるがデータ損失やシステムおよび機器の損傷には関連しない情報を表します。

重要: は、データ損失やシステムおよび機器の損傷を回避するために必要な情報を表します。

関連情報: は、参照先の情報の場所を表します。

また、本書では以下の表記法を使用します。

表記	使用方法	例
[] 角かっこ	コマンド名の前後 画面に表示される語 (ダイアログ ボックス、メニューなど) の前後	[スタート] をクリックします。 [プロパティ] ダイアログ ボックス
コマンドライン中の [] 角かっこ	かっこ内の値の指定が省略可能であることを示します。	<code>clpstat -s[-h host_name]</code>
モノスペースフォント (courier)	コマンド ライン、関数、パラメータ	<code>clpstat -s</code>
モノスペースフォント 太字 (courier)	ユーザが実際にコマンドプロンプトから入力する値を示します。	以下を入力します。 <code>clpcl -s -a</code>
モノスペースフォント (courier) <i>斜体</i>	ユーザが有効な値に置き換えて入力する項目	<code>clpstat -s [-h host_name]</code>

最新情報の入手先

最新の製品情報については、以下のWebサイトを参照してください。

<http://www.nec.co.jp/clusterpro>

第 1 章 ActiveImage Protector 3.0

このインストールガイドは、CLUSTERPRO 環境への ActiveImage Protector 3.0(以降 AIP と略記します)のインストールと運用を説明します。

CLUSTERPRO は現用系と待機系が存在する、標準的な 2 ノード構成を基準として作成しています。各項目の具体的な手順は、AIP の製品 CD のクイックスタートガイドを参照してください。

インストール

AIP は現用系と待機系で別々にインストールして運用します。

片側ノードのみ、または両側ノードにインストールすることができます。

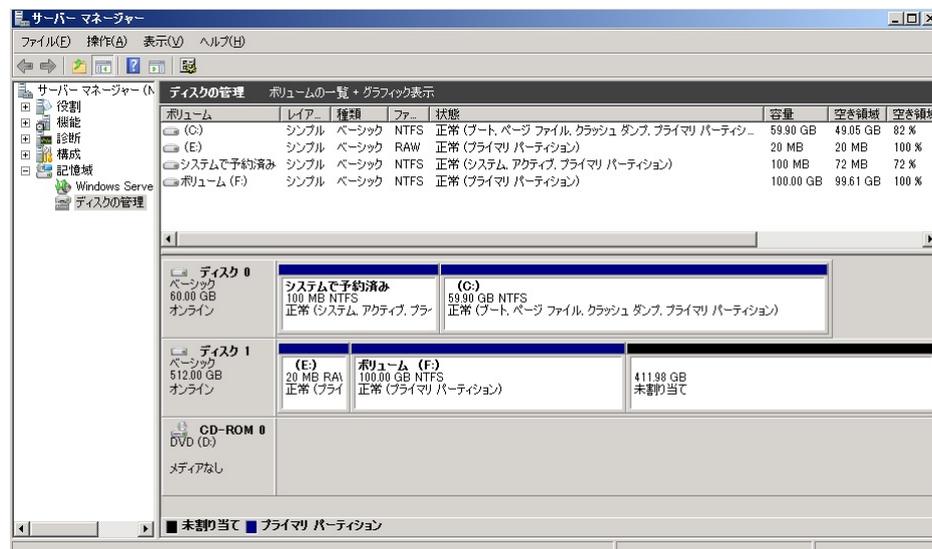
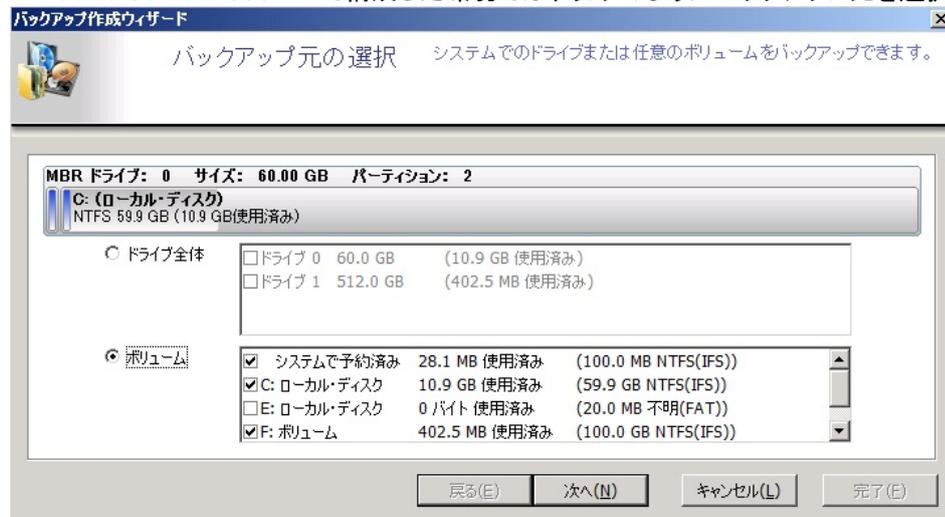
AIP のインストール先は、現用系と待機系のローカルディスクを指定します。

バックアップ(スケジュールの作成)と通常の運用

CLUSTERPRO のクラスタパーティションをバックアップする必要はありません。

クラスタパーティション以外のパーティションをバックアップ対象として設定してください。

Windows Server 2008 R2 で構成した環境では、以下のようにバックアップ元を選択します。



バックアップの単位は[ボリューム]を選択します。

通常はシステムディスク(C ドライブ)と切替パーティションを同時に(同じスケジュールで)バックアップします。

両ノードで切替パーティションをバックアップする場合は、切替パーティションを切り替えながらバックアップジョブを作成してください。

この場合、待機系(切替パーティションが接続されていないノード)では、切替パーティションが存在しないため、バックアップを実行すると履歴にエラーが記録されますが、問題はありません。これは AIP の仕様による制限事項です。

片側ノードのみで切替パーティションをバックアップする場合、この問題は発生しません。

フェイルオーバー実行中のバックアップについては、動作保証していません。

フェイルオーバー完了後に Windows が安定稼働した状態でバックアップする必要があります。

イメージの復元

NTBackup は、100 シリーズの Windows 2003 でのみサポートします。

注意事項

AIP は次の 2 つの復元方法が用意されています。

(A)製品 CD からシステムをブートし、WindowsPE でイメージファイルを復元する

(B)Windows 上の AIP コンソールで、イメージファイルを復元する

Windows のシステムディスクを復元する場合

(A)の復元方法を使用します。

- (1) 復元するノードを AIP の製品 CD でブートします。
このとき、残りのノードが現用系として動作します。
- (2) 復元が完了したらサーバーを再起動します。
- (3) 復元したノードは待機系として動作します。

切替パーティション(ミラーパーティション)を復元する場合

(B)の復元方法を使用します。

- (4) 現用系の AIP コンソールで切替パーティション(ミラーパーティション)を復元します。
復元の実行中は切替パーティション(ミラーパーティション)にアクセスすることはできません。
- (5) 復元が完了したら、両ノードはそのまま動作します。

上記は復旧手順の一例です。

運用を開始する前にお客様の環境に沿った復旧のシナリオを確立してください。